

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|-------------|-----|---------------|
| ○事業所名 | Teamらるご | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年 1月 15日 | | ～ 令和8年 2月 15日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 106 | (回答者数) 54 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年 1月 15日 | | ～ 令和8年 2月 15日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5 | (回答者数) 5 |
| ○訪問先施設評価実施期間 | 令和8年 1月 15日 | | ～ 令和8年 2月 15日 |
| ○訪問先施設評価有効回答数 | (対象者数) | 48 | (回答者数) 48 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年6月11日 | | |

○分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|---|
| 1 | ・開設当初から保育所等訪問支援を行っているため、各学校との連合が取りやすい体制ができている。また、今までの実績から学校や相談支援事業所からの信頼が得られている。 | ・訪問支援に伺った際には学校からの情報提供だけでなく、事業所での様子や保護者の意向なども伝えるようにし、情報の共有に努めている。 ・訪問の様子は相談員や他の事業所とも情報の共有を図るようにしている。 | ・学校との連携をさらに強くするために、時間を作ってのじゅほう交換会などを設けると良い。 |
| 2 | ・心理士、言語聴覚士、保育士等、教員など色々な職種で訪問をおこなうため、多角的に子どもの様子や課題を捉えることができている。 | ・学校や園での様子を職員間で共有し、個別の支援の現場に活かすようにしている。 | ・更に子どもの様子を客観的に判断するために、発達検査や社会適応検査などを個々の子どもにおこなっていく。 |
| 3 | ・丁寧な保護者支援をお粉うために定期的に保護者との面談を行い、家庭での困り感に寄り添ったり、障害理解を促したり、将来的なことに対するアドバイスを行っている。 | ・保護者の意向等については職員間で共有し、組織内で一貫した支援となるようにしている。 | ・分かりやすいシステムが作れると良い。 |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|--------------------------|----------------------|
| 1 | ・登録人数が多いので、管理が煩雑になりやすい。 | ・請求事務が難しいことや事務作業が手申すること。 | ・専門の人員の配置が望まれる。 |
| 2 | | | |
| 3 | | | |